

組み立てを考えて物語を書こう

めあて

友だちの物語を読んで、よさを見つけよう。

「三年とつげ」

李^リ 錦玉^{クムオキ} 作

友だちの作品を読んで、感想を交流しよう。

- 物語のつながりのよさ
- 書き表し方のくふう

① 友だちの物語を読む。

② 感想カードを書く。

③ 感想カードに書いたことを発表する。

・ 登場人物

・ じけん

・ かいけつのはしかた

・ むすび

※交流の際に出てきた児童の感想については、ある程度分類して板書すると、一人一人の違いに気付かせる際に便利です。

【12 / 12 時間目 指導略案】 原稿と振り返りカード
活動のねらい

友だちの物語を読んだ感想を書き、考えを交流することを通して、一人一人の感じ方の違いに気付かせる。

1 本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

○ 書いた物語を読み合い、感想を交流することを確認する。

2 物語を読んだ感想を交流する。

① 友だちが書いた物語を読み、感想をカードに書く。

○ 感想カードを用意し、物語のつながりのよさや表現の工夫を書かせる。

※ 児童の実態に応じて、物語のつながりやよさ、表現の工夫が理解できない場合は、「作品（物語）のよいところを見つける」という視点で感想を書かせる方がよいでしょう。

② 感想カードを基に、友だちの物語を読んだ感想を発表する。

○ 同じ友だちが書いた物語でも、一人一人感じ方が違うことに気付かせる。

※ 交流のさせ方については、学級の実態に応じてペアでの交流や三、四人のグループでの交流、全体での交流などを組み合わせ取り組ませるとよいでしょう。

3 単元全体の学習の振り返りをする。

○ 物語を構成の面から読んで、自分の物語を書いたことについて振り返らせ、構成に注意して読むことも、物語の楽しみ方であることに気付かせる。

評価 物語を読んで、感想を交流し合い、感じ方の違いに気付いている。